

株式会社アイ・エム・ビー・センター 様

不適切なサイトへのアクセスの抑止に貢献 操作ログの監視でウイルスの感染源も特定可能に！

AssetView GOLD Mの導入が社員のモラルをさらに高めた

ご担当者様



株式会社アイ・エム・ビー・センター
総務部システム課
課長
植松 規子 氏

弊社担当営業



株式会社ハンモック
営業本部
西山 宏樹

厳しさを増す病院経営をサポート

医療をとりまく環境は、医療制度改革や病院機能評価などによって変化の時期を迎えており、医療機関はその変化に迅速に対応しながら病院経営を進めていかなければならない。株式会社アイ・エム・ビー・センターは医療事務代行サービスや医療コンサルティングサービスを提供し、長年にわたり医療機関をサポートしてきた。

同社では国公立病院を主体に全国約200の医療機関の医療事務の受託やコンサルティング業務を行っており、社員数は約4,000人におよぶ。

各医療機関で勤務するスタッフは、クオリティの高いサービスとモラルを維持するため、外部スタッフに頼らずすべて同社の社員に限られている。現在はさらに質の高いサービスを目指し、接遇研修や資格取得のための各種研修を実施するなど、一層のスキルアップに努めている。

主力商品が人材サービスであるだけに取り扱い個人情報は膨大であり、厳格で適切な取り扱いが求められるため、同社では管理ソフトの導入を検討し、AssetView GOLDを購入、社員のPCに導入した。その経緯や運用状況などについて、同社総務部システム課課長の植松規子氏にお話を伺った。

Pマーク取得で管理強化を求められる

医療機関にスタッフを派遣し業務を請け負って

いる関係上、同社で取り扱う多様な個人情報の中には機微なものも含まれ、細心の注意でデータの紛失や流出を予防しなければいけない。同社では2年前にプライバシーマークを取得し、個人情報の適切な取り扱いに関する取り組みを行っている。医療に関する個人情報は機微な情報が多く、特に注意を要するので、各医療機関で勤務する社員にも、医療機関の情報は持ち出さない、コンサルティングでどうしてもレセプトなどが必要な場合は、個人が特定できないようにする、個人情報を取り扱う際には医療機関と覚え書きを交わすといった対応を徹底させてきた。個人情報の管理には記録が重要である。同社では機微な情報を扱う際に、個人情報を含むファイルへのアクセスやシステムの更新履歴などは、いつ、だれが、どのように使用したかを明確にするため、記録簿に手書きで記録をとっていた。しかし、実際に使用するファイルがほとんど個人情報であるため、ファイル管理に時間をとられて業務に支障が出かねない状況だったのだ。2008年、プライバシーマークの更新にあたり、それまでの規定や業務管理の手法を見直すことになる。AssetView GOLD導入以前はインストールされているソフトウェアの管理、ウイルス駆除ソフトによるセキュリティ対策などは行っていたものの、PCの稼働監視ソフトは利用していなかった。手書きの記録だけでは管理も困難なため、

導入先企業データ

I.M.B.
CENTER CO.,LTD.

株式会社 アイ・エム・ビー・センター

本社所在地：〒530-0003
大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル10F
設立：1968年(昭和43年)1月30日
資本金：9,000万円
従業員数：3,700人
URL：<http://www.imb-c.com/index.html>

概要：
医療機関を対象に、医療専門スタッフによる医療事務代行サービスおよび経営相談や業務改善などの医療コンサルティングサービスを展開。ウェブサイトでは会員制情報サービスも提供している。

医療と人に、
やさしさのかけ橋を

■株式会社アイ・エム・ビィ・センター システム構成 AssetView GOLD導入拠点数 12拠点(全120台)

構成：AssetView GOLD M

※画面は操作ログの一例です。

【AssetView GOLD M操作履歴画面】

■アラートプロセス ■アクティブログ ■スクリーンセーバー ■放置・スタンバイ ■未稼働

稼働状況グラフ: 全てイグループ株式会社 2007/04/29

① 右クリック
操作履歴詳細を表示する

アラートの時間帯をピックアップ!

② 左クリック

インターネットアクセスの詳細がわかります

ポリシー違反の操作がアラート(赤)表示されます

管理ソフトを導入するのが現実的だということになったという。

選べる機能と

コストパフォーマンスでアドバンテージ

特に必要性を感じたのがPCの操作ログを把握できるソフトウェアだった。早速、従来からの取引先に問い合わせし、数社の製品について資料を取り寄せるなど比較検討を重ねた結果、2008年11月末、AssetView GOLD M(PC稼働監視/不正操作対策)を購入、同社の本社および9支社、2営業所のクライアントPC約120台すべてに導入した。

「製品の検討段階で特に重視し、比較したのが機能面とコストパフォーマンスでした。他社製品は多機能パッケージになっていますが、さまざまな機能の中には弊社には必要のないものも多々あります。それに比べてAssetView GOLDは、本当に必要な機能だけを選べる点が魅力的でした。」と植松氏は当時を振り返る。

同社ではまず、AssetView GOLD Mを選択した。これによって、社員がクライアントPC上でどのような操作を行っているのか、どういったアプリケーションを使用しているのかを監視することができるようになった。

AssetView GOLD M導入前に社員に対しセキュリティツールを導入すること、ウェブサイトへの接続やファイル操作などのログを取得することを社員に告知した。

導入以前も大きくモラルを逸脱した行動や、不正コピーソフトを使用するような社員はいなかったが、まれに不適切なサイトへのアクセスなどが見られたという。しかし、AssetView GOLD Mを導入した結果、業務に関連しないサイトへのア

クセスが自発的に抑制されるようになった。また、万が一不適切なサイトへアクセスがあったとしても、ログ監視機能を活用することによって的確に警告を発することができるので、管理する側にとっては大きな安心につながる。

ログ管理による副次的な効果もあるようだ。「ウイルス対策ソフトの監視も同時に行っていますが、いままではどのクライアントPCにどんなウイルスが侵入したためそれを駆除したということは分かって、感染源となるファイルやウェブサイトへのアクセスが特定できていませんでした。AssetView GOLD M導入後はウイルス駆除の記録とログを照合することにより、感染の原因となるファイルやウェブサイトまで特定できるようになったので、ウイルス感染の危険性のあるサイトへのアクセスを禁止できるようになったのが助かっています。」と植松課長は思わぬ効果を挙げる。

セキュリティ向上のツールとして

「いま関心を持っているのはビジネス向けのインスタントメッセージングAssetView TalkManagerです。」と植松課長。AssetView TalkManagerは電話やEメールとは異なるコミュニケーションツールで、リアルタイムに複数人で同時会話も可能だ。しかも記録性があり、レスポンスにも優れているため、スピードを求められる業務にも適している。「サーバのメンテナンスなど、クライアントPCの使用を停止する場合も、電話などで告知するのは非常に効率が悪く面倒ですが、AssetView TalkManagerなら一斉にメッセージを配信できるため、効率化が見込めます。」と期待を寄せる。

医療業界は個人情報を始め、さまざまな情報の取り扱いに高いセキュリティを求められる業界

だ。そのサポートをする同社も同様である。植松課長は「今後、AssetView GOLDをさらに有効に活用し、業務の改善につなげたい。」とセキュリティ向上への意欲を語っていた。

取材日：2008年2月4日